

⑤減らせ突然死 救急・AED機器推進部会

| | | | |
|-----------------|--|------|------------------------|
| 名称 | ⑤減らせ突然死 救急・AED機器推進部会 | | |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間7万人を超える突然死を減らす ・突然死の予防活動で、発生リスクを抑え、突然死になる人を減らす ・AED普及推進（台数と知識）で突然心肺停止者の救命者を増やす | | |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間7万人を超える突然死が発生している実態が知られていない ・AED機器の知識（設置場所、使用方法など）が不足している ・AED機器設置後に、継続した救命講習会やメンテナンスが十分に行われていない | | |
| 代表者 | 役職名 | 氏名 | 法人名・役職 |
| | 部会長 | 岩田和也 | オムロンヘルスケア株式会社AED事業部部長 |
| | 副部会長 | 本橋勝 | ウエルシア薬局株式会社総務本部リスク管理部長 |
| | | | |
| 達成内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドラッグストアを活用した突然死の発生リスクを抑えるための予防提案の推進。 ・行政、団体、企業と連携し、いつでも誰でも使用できる環境をつくる。 ・突然心肺停止を発見したら勇気を持ってAEDを使用できる環境をつくる。 ・産業界における連携体制を構築する。 | | |
| 成果物 | <ul style="list-style-type: none"> ・突然死撲滅及び救命・AED機器推進ガイドライン | | |
| 活動内容 方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・突然死撲滅及び救命・AED機器推進ガイドラインの検討と作成。 ・突然死のメカニズムを研究し、突然死予防をカテゴリー化して売場実現する。 ・行政及び企業と連携した救命講習会の継続的な実施。 ・AED機器設置及び救命講習受講に関する制度研究。（必要なものは制度化を進める） | | |
| 部会開催と スケジュール | <ul style="list-style-type: none"> ・月1回又は2カ月に1回の打ち合わせ スケジュールは都度部会員へ通知、ホームページには報告後掲載 | | |
| 運営方法と ルール | <ul style="list-style-type: none"> ・議事録作成者及び連絡担当者：植栗 ・部会にはできる限り参加。代理出席可。途中参加可。 | | |
| 備考 | | | |